

とうきょう すくわくプログラム実践報告書(八王子市)

施設名	共励こども園
担当者名	今井ゆきの

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

本園が所有するプレイパークにて、様々な自然活動を通して、事前の危険性を体感しながら、自発的な遊びの体験を通し、子どもの興味関心を引き出す。

2. 活動スケジュール

7月 5歳お泊まり保育
10月 3・4歳園外保育
11月 3・4歳園外保育 5歳森のようちえん活動
3月 5歳お別れ遠足

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

自然物を使った絵画工作（のり、画用紙、自然物）
森の中の道を散策するために、安全面に注意しながら下見、人の配置

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

自然物を使った工作：葉っぱで絵を作ろう
自分の体を上手に使いながら、少し危険なことにも挑戦していく。森の崖を上り下りする。
森の道を探索。

〈活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり〉

自然物を使って、絵を作る活動に関しては、大人が思いつかないような作品を作っていた。色々な葉っぱの形があることに気づく子供たちがいた。回を重ねるごとに、体の使い方が上手になり、少し危険なことにもチャレンジする姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

季節によって、自然は変化があるので、その違いに気づくことができた。

子供の柔軟な発想を引き出す声かけを工夫するように考えた。

危険のないように人員配置、遊び場の点検が必要である。

とうきょう すくわくプログラム実践報告書(八王子市)

施設名	共励第二こども園
担当者名	長田豊司

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然活動

<テーマの設定理由>

自然の中での子供の姿は本当に生き生きとし、大人から与えられた遊びではなく、自主的に遊びを選択し、身体能力を高めていく。自然に触れる感動（センス・オブ・ワンダー）や、自然の危険性を体感しながら、自ら遊びを探し出したり、自発的に遊ぶ体験を通し、子供の興味関心をさらに深めるため。自然遊びのテーマ（森のようちえん活動）ごっこ遊びにテーマ（探偵ごっこ）

2. 活動スケジュール

6月 年中：自然のおもちゃで遊ぼう
7月 年長：合宿
9月 年中：ヤギさんのエサを集めよう
11月 年中：土を荒らす猪をつかまえろ！
年長：森のようちえん活動
12月 年中：森のようちえん活動
1月 年中：春に梅が咲きますように
年中：森のようちえん活動
2月 森の仲間たちとごっこ遊び
3月 自然のおもちゃを使ったおままごと

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

自園が所有するプレイパークでの自然探求活動を継続的に活用できるよう、昨今の気象状況に備え、雨天時や夏季の高温時等でも自然活動が屋外でできるよう、雨よけ・紫外線避けテントを設ける。また、自然の中で不慮の事故や怪我等のリスクを最小限とするために敷地の維持管理する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

ごっこ遊び（探偵ごっこ）を介して自然と触れ合い自然物で遊ぶ。（自然のおもちゃで遊ぶ・ヤギさんのエサを集めよう・土を荒らす猪をつかまえろ！・春に梅が咲きますように・森の仲間たちとごっこ遊び）年長組の自然活動（夏季の合宿・森のようちえん活動）

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

自然のものとごっこ遊びのイメージを膨らませて遊びに入り込む子供たち。ごっこの世界があるからこそ、変哲もない自然物が宝の宝庫となります。落ちている枯れ枝と大きな葉っぱを見立てて釣りごっこが始まったり、猪に荒らされた後を見て、罠を作ろうという発想が出たりとファンタジーと現実が交わりながら遊びの世界が広がります。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

園庭や園舎と違って、無秩序のように広がる自然の中で子供が感じることは計り知れないと思う。身の回りにある落ち葉や枝等はおもちゃに変身し、ごっこ遊びのイメージを広げてくれる。何よりも良いのが自然の中での遊びは大人や施設の都合である片付けにあまり縛られないことです。今後子供の健康や安全な発達を考慮しながらも、ただ楽しいだけでなく、雨・風・暑さ・寒さ等自然の厳しさと同時に恐れも感じながら、感受性が豊かになる活動を展開していきたい。